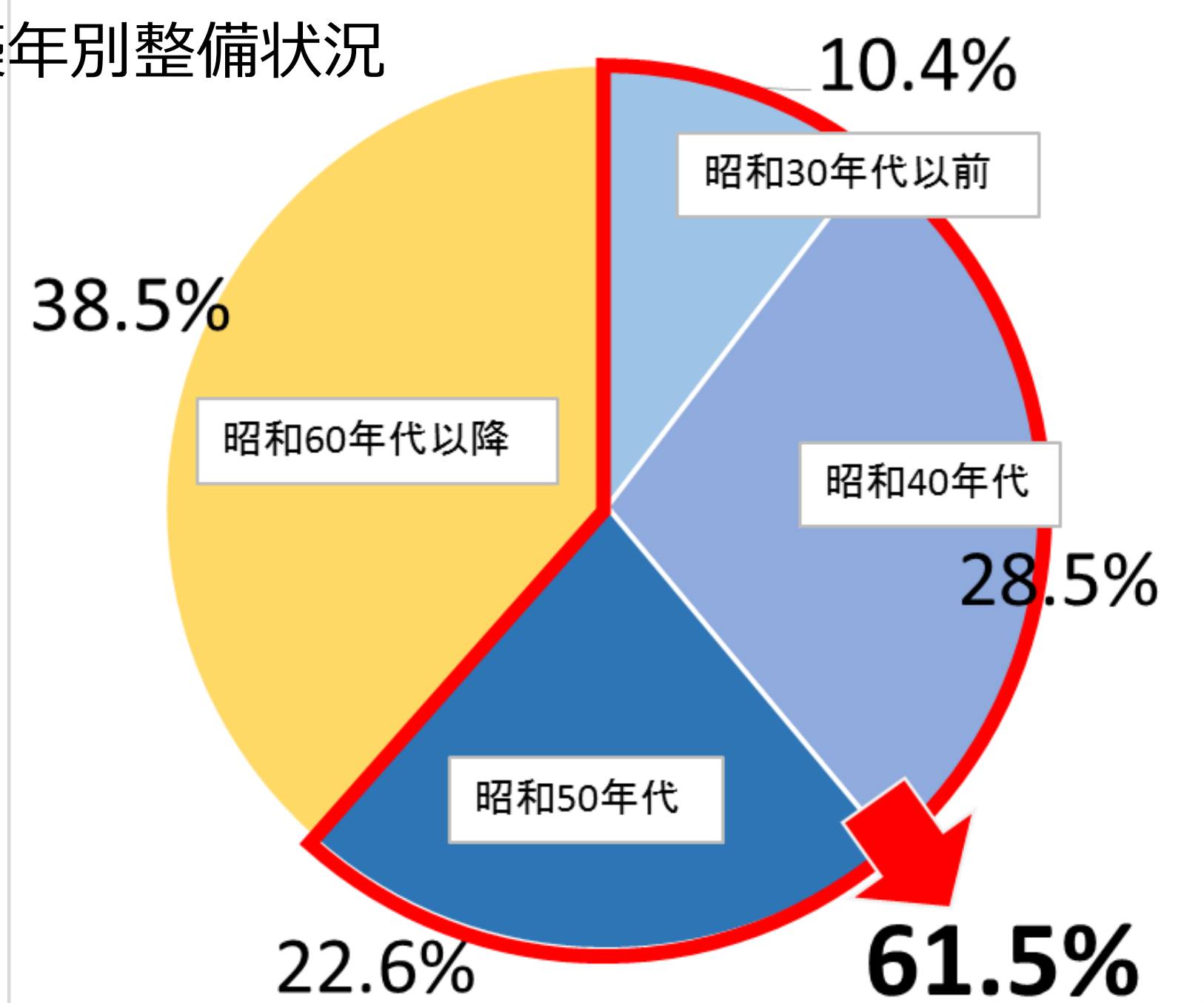


## 1 公共施設の老朽化が進んでいます。

- 蒲郡市の公共施設の多くは昭和40～50年代にかけての高度経済成長期に、人口の増加に伴い建設され、この時期に建築された公共施設は、全体の61.5%を占めています。
- これらの築30年を越える建物は、老朽化が進んでいることから、建替や大規模改修等の対応が必要となってきます。

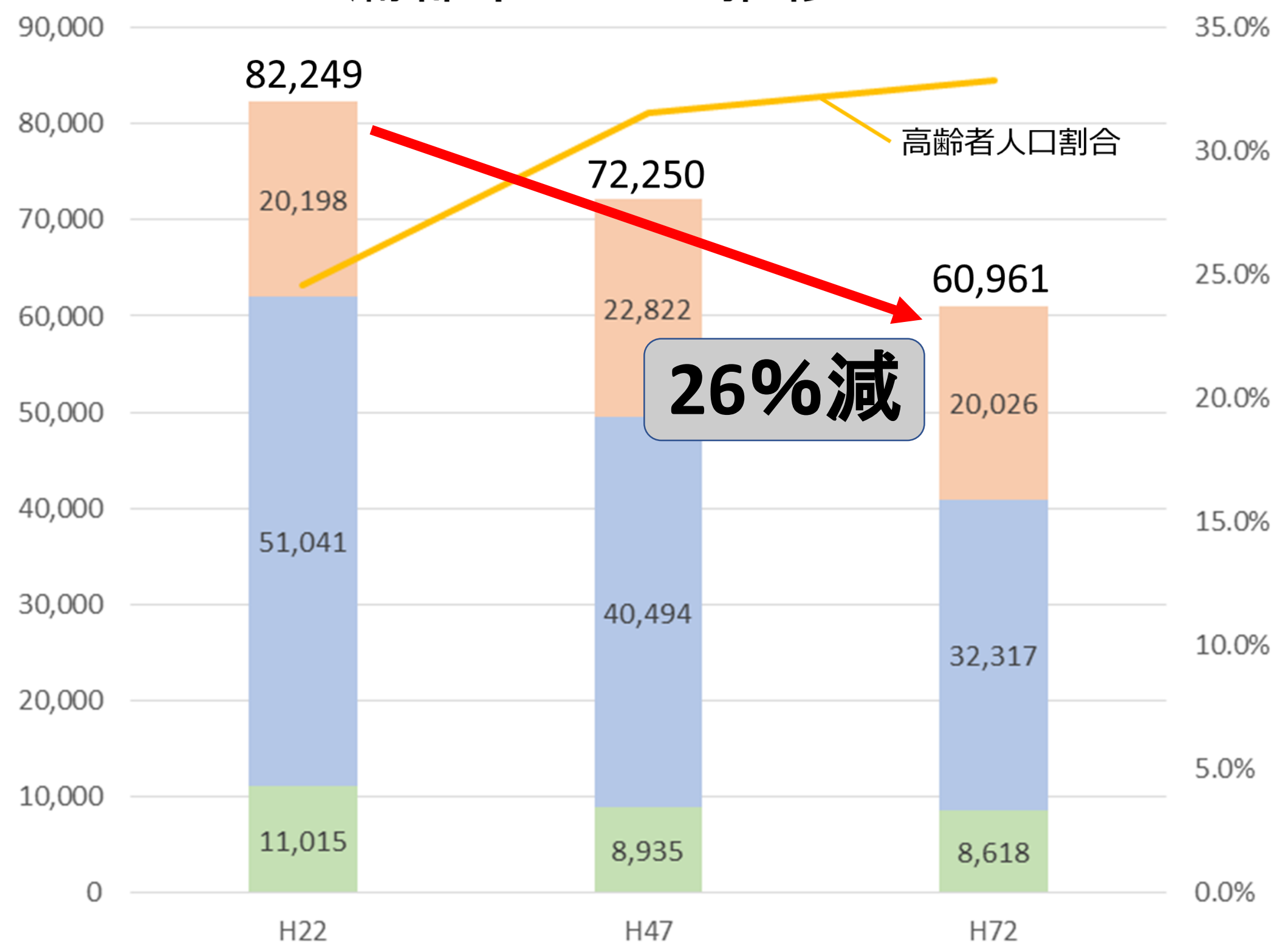
公共施設の築年別整備状況



## 2 人口減少と少子高齢化が進みます。

- 蒲郡市の人口は50年間で約2.1万人減少し、平成74年には約6.1万人(26%減)になると予測されています。
- また、高齢者人口の割合は平成74年には30%以上となり、約3人に1人が60歳以上となる見込みです。
- 人口減少に伴う税収の減少や高齢化による福祉に係る費用等の増加により、市の財政状況が厳しくなることが予測されます。

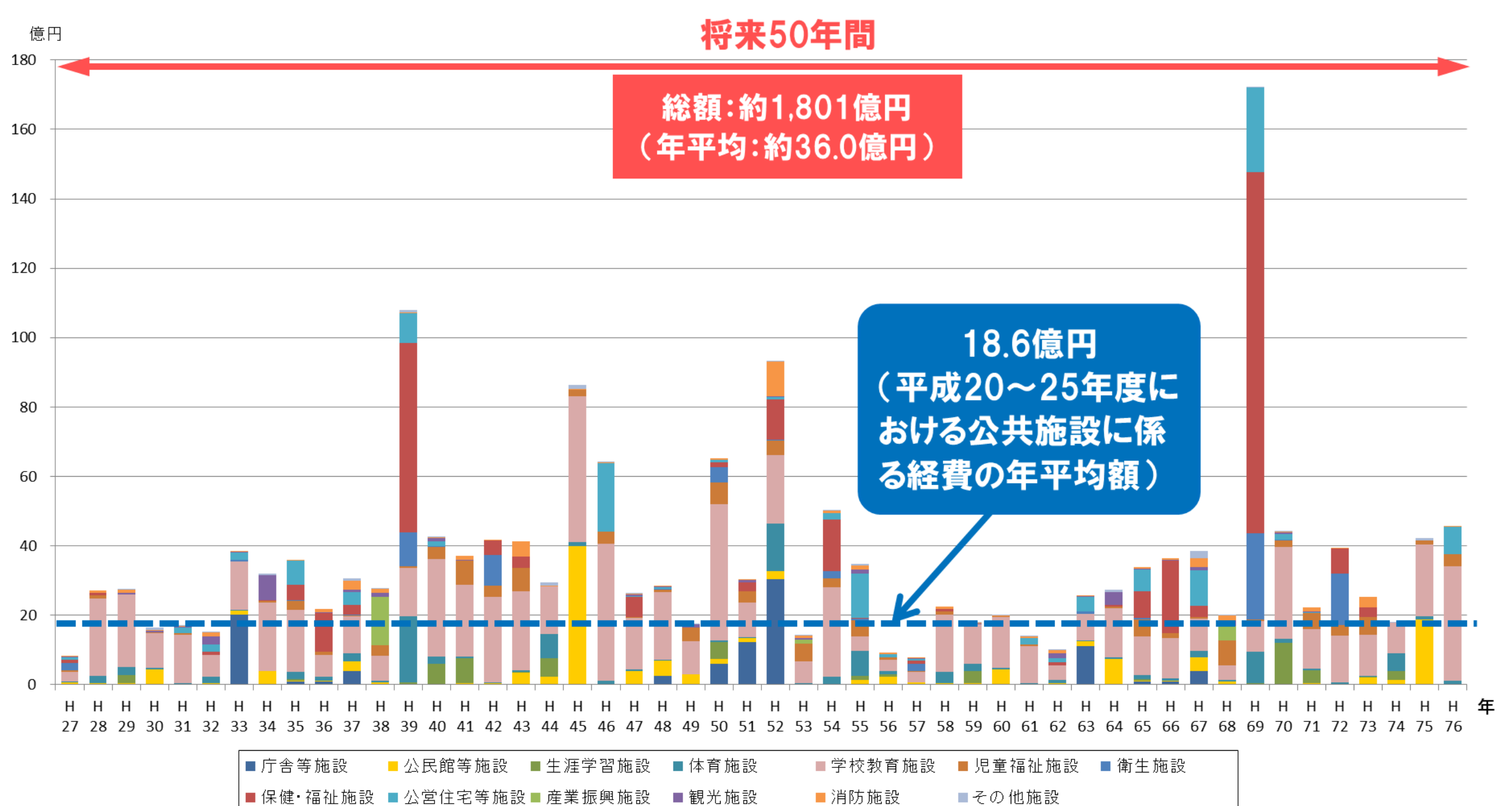
蒲郡市の人口推移



## 3 施設をそのままの規模で持ち続けることができません。

- 公共施設の維持・更新にかかる費用は、将来50年間では総額約1,801億円(年平均36.0億円)と推計されています。今から10年後以降の費用は特に高く、厳しい状況になります。
- 一方で、近年の公共施設に係る経費は年平均約18.6億円と、大半の年で公共施設の維持更新に係る費用は現状の公共施設にかかる経費を上回っています。
- このことから、そのままの規模で施設を維持することが難しいことが分かります。

公共施設に係る将来費用予測



# 塩津地区の皆様へ、将来の公共施設の配置や使い方についてご議論いただいています。

- 塩津地区の皆様にご集まりいただき、全5回の予定で「まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催しています。
- ワークショップは、市民参加で意見の集約、考え方の整理などを行うものです。
- これから起こる様々な社会の変化や地域の課題に対応するために、塩津地区に適した公共施設の配置はどのようなものか地区の皆様と話し合いを行っています。
- これまでに3回のワークショップが開催され、下記の点について話し合いを行いました。  
〈第1回〉 7月22日(土)開催
  - ・ワークショップの進め方の確認
  - ・公共施設の現状と今後について〈第2回〉 8月20日(日)開催
  - ・塩津地区の課題について
  - ・課題解決のためのアイデアについて〈第3回〉 10月29日(日)開催
  - ・課題解決に向けた公共施設の再配置プランについて期待できることと心配なこと

第1回ワークショップの様子



第2回ワークショップの様子



第3回ワークショップの様子



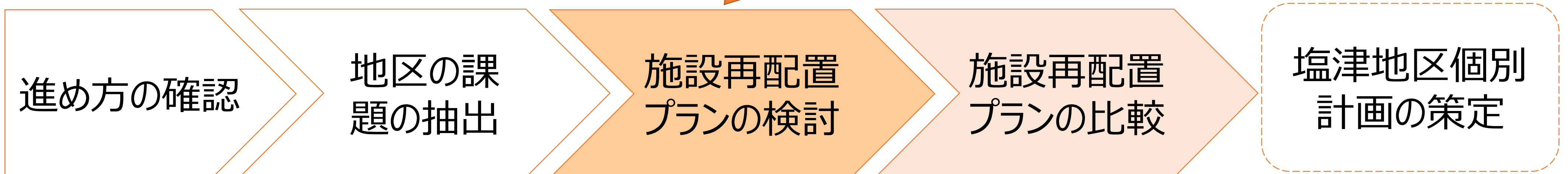
議論のまとめ発表の様子



## ワークショップの検討の進め方

- ワークショップでは段階的に検討を行います。
  - ✓ 進め方の確認：ワークショップの進め方、ルールについて確認しました。
  - ✓ 地区の課題の抽出：第1,2回ワークショップでは塩津地区や公共施設の課題や課題解決に向けたアイデアについてご意見いただきました。
  - ✓ 施設再配置プランの検討：第1,2回でご意見いただいた地区の課題の解決に向けた公共施設の再配置プランについて議論しました。
  - ✓ 再配置プランの比較：地区の皆様のご大切だと思える視点を評価の指標として活用し、再配置プランを比較していきます。

現在はこの段階です。



- ワークショップの最終回までに、まとめ上げた成果は、複数の再配置プランの評価結果を比較表として整理します。
- 比較表の内容の一部（あるいは全体）は、市が「地区個別計画」を策定する際の基礎情報として活用します。

# 塩津地区の課題を8つの視点にまとめ、 課題の解決策を14項目に整理しました!!

## 視点① 地区の活性化(まちづくり)

### 課題

- 塩津ならではの特徴がない
- 地域交流の度合いに差異がある
- 地域行事に対応した設備が不十分
- 地区全体の一体感がなく、行事の参加者が高齢化し、子育て世代が参加しなくなっている
- 地区内に働いて生活していけるような雇用を創出する企業がない

施設の再配置を通じた課題解決策

### 1 地域の中心となる活動拠点の整備

## 視点⑤ 災害時の対応

### 課題

- 再配置後も適正な避難所の確保が必要
- 十分なスペース、津波対応が必要

施設の再配置を通じた課題解決策

### 7 避難所の分散配置

### 8 避難所の機能の確保

## 視点② 子育てしやすい環境づくり

### 課題

- 利用しやすい保育園が必要
- 保育園の立地が不便
- 児童クラブが定員いっぱいでは利用できない
- 延長保育や低年齢児保育の未実施、手続きの多さ

施設の再配置を通じた課題解決策

### 2 保育園・小学校・中学校の一体化

### 3 小学校内への児童クラブの設置

### 4 子育て支援施設と学校の連携

## 視点⑥ アクセス性への配慮

### 課題

- 十分な駐車スペースが必要
- 地区内の各所から通いやすい配置に
- 車を持たない人の送迎が円滑にできるように

施設の再配置を通じた課題解決策

### 9 アクセスしやすい場所への施設配置

### 10 施設の分散配置

### 11 十分な駐車スペースの確保

## 視点③ 多様な方々が利用できる場の創出

### 課題

- 増加する高齢者への対応
- 世代間で交流できる機会と場所がない
- 若者の地域への関心が希薄
- 外国人にとっても住みやすいまちに

施設の再配置を通じた課題解決策

### 5 多様な方々の交流の場の創出

## 視点⑦ 将来負担(コスト)の縮減

### 課題

- 人口減・少子高齢化、税収減
- 限られた税金で何ができるか考える必要がある
- 建設費と維持費をできるだけ抑える

施設の再配置を通じた課題解決策

### 12 保有施設数を絞り、投資を集中

### 13 費用対効果の高い移転先の選定

### 14 低未利用地の有効活用

## 視点④ 安全の確保

### 課題

- 施設の老朽化が進む
- バリアフリー設備が不十分
- 複合化を前提とした場合の防犯対策

施設の再配置を通じた課題解決策

### 6 老朽化した施設の改修・改築

## 視点⑧ 運営の改善

### 課題

- 利用率を高める工夫を
- 施設の管理体制を明確に

※再配置実施後に配慮する事項として整理する

# 公共施設の再配置を考える上で あなたは何を重視しますか？

## 視点① 地区の活性化（まちづくり）

- 1 地域を中心となる活動拠点の整備

## 視点② 子育てしやすい環境づくり

- 2 保育園・小学校・中学校の一体化
- 3 小学校内への児童クラブの設置
- 4 子育て支援施設と学校の連携

## 視点③ 多様な方々が利用できる場の創出

- 5 多様な方々の交流の場の創出

## 視点④ 安全の確保

- 6 老朽化した施設の改修・改築

## 視点⑤ 災害時の対応

**7** 避難所の分散配置

**8** 避難所の機能の確保

## 視点⑥ アクセシビリティへの配慮

**9** アクセスしやすい場所への施設配置

**10** 施設の分散配置

**11** 十分な駐車スペースの確保

## 視点⑦ 将来負担（コスト）の縮減

**12** 保有施設数を絞り、投資を集中

**13** 費用対効果の高い移転先の選定

**14** 低未利用地の有効活用



将来負担を抑えつつ、地区の行事や活動を一体的に行いたい…!!

## A 中学校敷地に施設を集中させるプラン

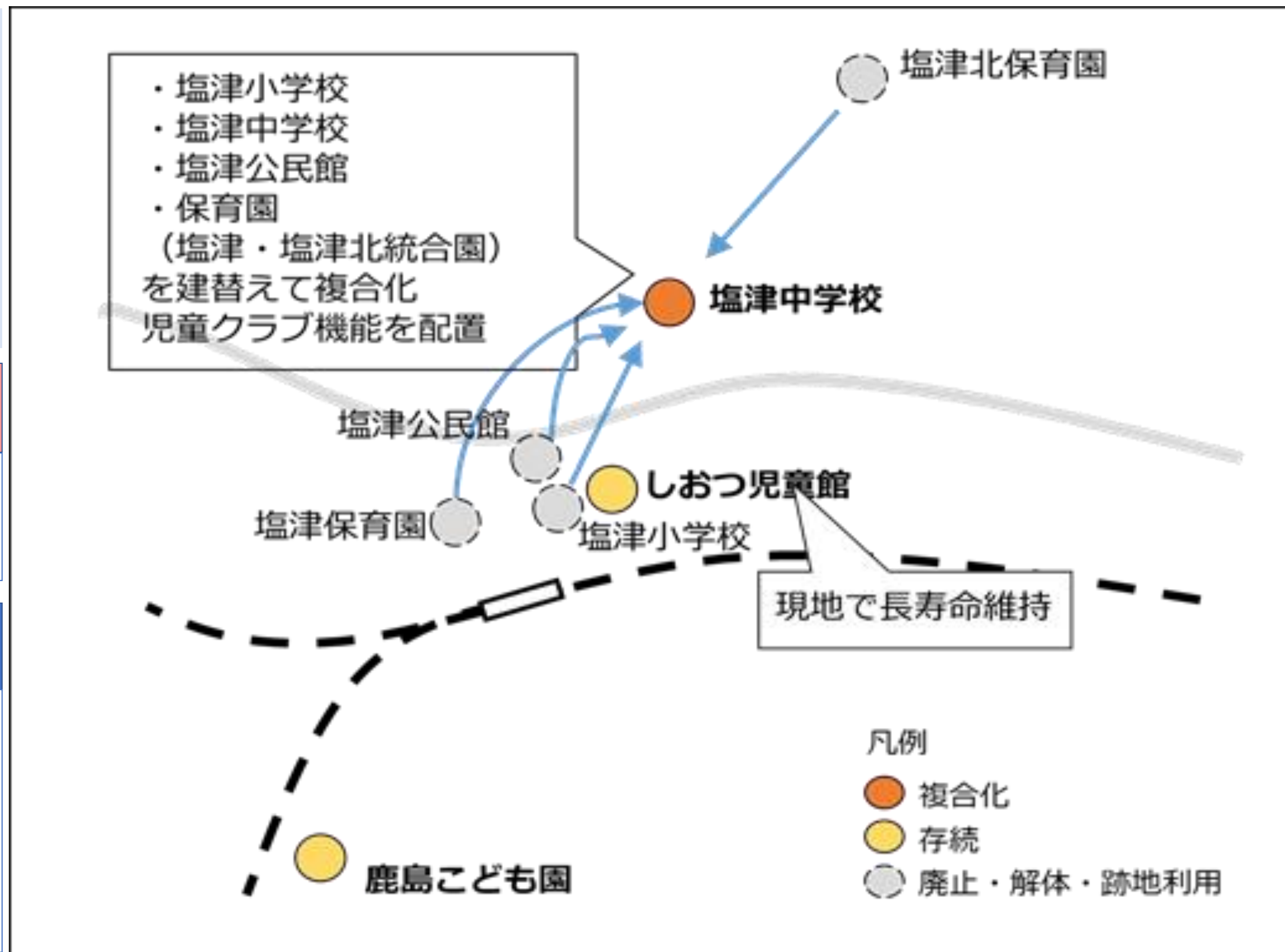
○塩津中学校に、塩津小学校、塩津・塩津北保育園の統合園、塩津公民館を複合化

重点を置いた解決策

1 12

関連する解決策

2 3 4 5 6 8 13



## ワークショップでの意見

### 期待できること

- 保育園、小学校、中学校、公民館が複合化されることで、多世代の交流が促進されるのが良い。
- 保育園、小学校、中学校が一体となって整備されるのは、子ども達の教育面や生活面に良い効果があるのに加え、送迎の負担や登下校時の不安が軽減されるので、保護者にとっても良いと思う。
- 分散投資して中途半端になるよりも、1カ所に集中して投資することができる方が良いものができると思う。
- 塩津小学校は地区の中心にあり利便性が高い土地なので、高く売却できる可能性がある。売却できれば市の財政にとっても良いのではないかな。

### 懸念されること

- 中学校に小学校、保育園、公民館の全てを複合すると、各施設に十分な機能を整備するには敷地面積が足りないのではないかな。特に、小、中学校のグラウンドや体育館が狭くなって部活動に制約がかかったり、行事があるときに駐車場が確保できなくなることが心配だ。
- 中学校に小学校が集約されると、鹿島・拾石地区の子ども達の通学が大変になる。小学生は自転車通学ができないないし、特に低学年の子どものが心配だ。通学バスなど公共交通の整備が必要ではないかな。
- 小学校の跡地が売却されてしまったら、避難所として使えなくなるのではないかな。避難所となる拠点が中学校だけになってしまうのは心配だ。
- 小学校が中学校に移転して児童館が遠くなると、小学生の児童館利用率が下がるのではないかな。児童館のあり方や利用の仕方が変わり、小学校との連携がしづらくなるがそれでよいのか。
- 公民館が駅から遠くなるので、車の運転ができない高齢者にとって公民館が使いにくくなるのが心配だ。



多様な方々と交流できる施設をつかっていきたい…！！

## B 多様な方々の交流の場を複数つくるプラン

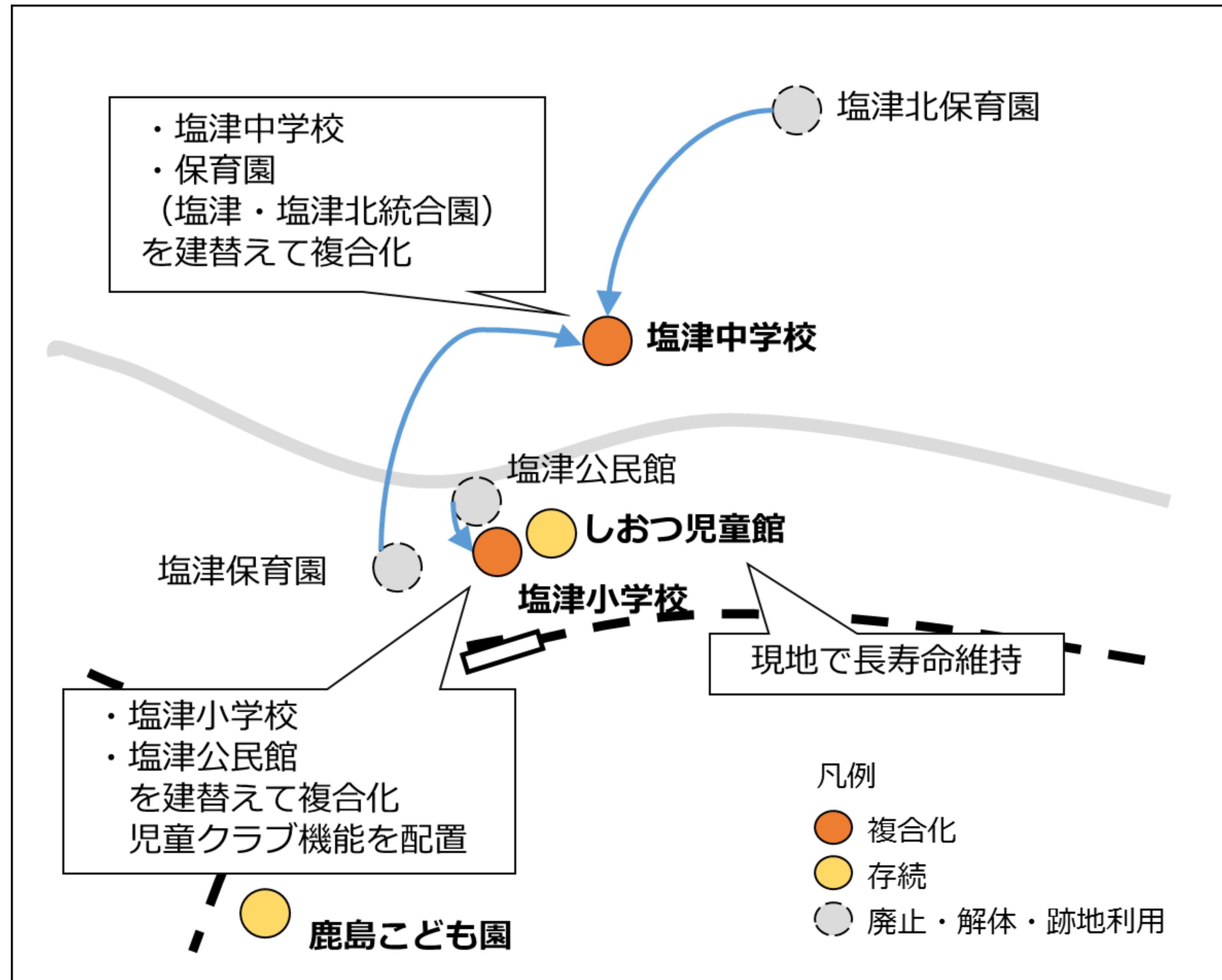
- 塩津小学校に塩津公民館を複合化
- 塩津中学校に塩津・塩津北保育園の統合園を複合化

重点を置いた解決策

**1 5**

関連する解決策

**2 3 6 7 8 10 13**



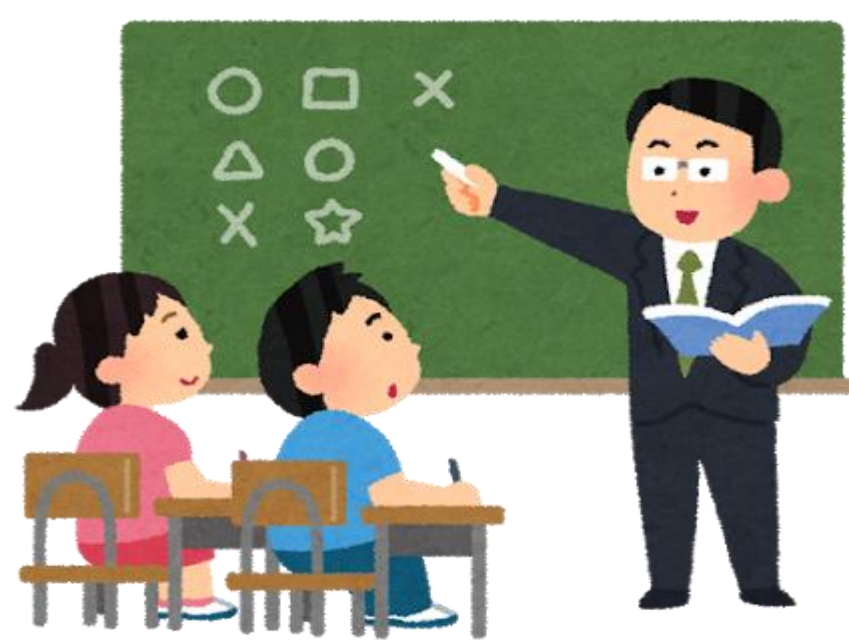
## ワークショップでの意見

### 期待できること

- 保育園と公民館が移動するだけなので現状に一番近く、利用者の負担が低く抑えられそうだ。
- 中学校と保育園、小学校と公民館の組合せなので、利用の際に用途がかぶってバッティングが起こることがなく、それぞれの施設に十分なスペースも取れそうで現実的な案だと思う。
- 小学校周辺は地区内で一番アクセスが良いので、公民館で日常的に活動をするならば、利便性が高い。
- 小学校と公民館を複合化すれば地区の人の顔が見えるので、小学校のセキュリティを確保した上で一体的にするのは良いと思う。

### 懸念されること

- 中学校と保育園が一緒になると、保育園の送迎と中学生の登下校が重なった時に、車と生徒が錯綜して危険ではないか。安全性の確保のために、出入り口や通学路などに工夫が必要だ。
- 保育園が集約されて中学校に複合されると、十分な駐車スペースが取れなくて保育園の保護者が困らないか。保育園だけでなく各施設に十分な駐車場があった方が良い。
- 高台にある中学校敷地に保育園が移ると送迎が不便になる。自転車や徒歩の人が大変だろう。
- 万が一中学校が荒れるようなことになったら、園児に危険が及ばないか心配だ。



# 立地・駐車スペースを考慮した 子育ての環境をつかっていきたい！！

## C 小中の一体化による教育の拠点とアクセスしやすい地域活動の拠点をつくるプラン

- 塩津中学校敷地に小中学校の機能を集約
- 塩津小学校の敷地に塩津・塩津北保育園の統合園、塩津公民館の複合施設を整備

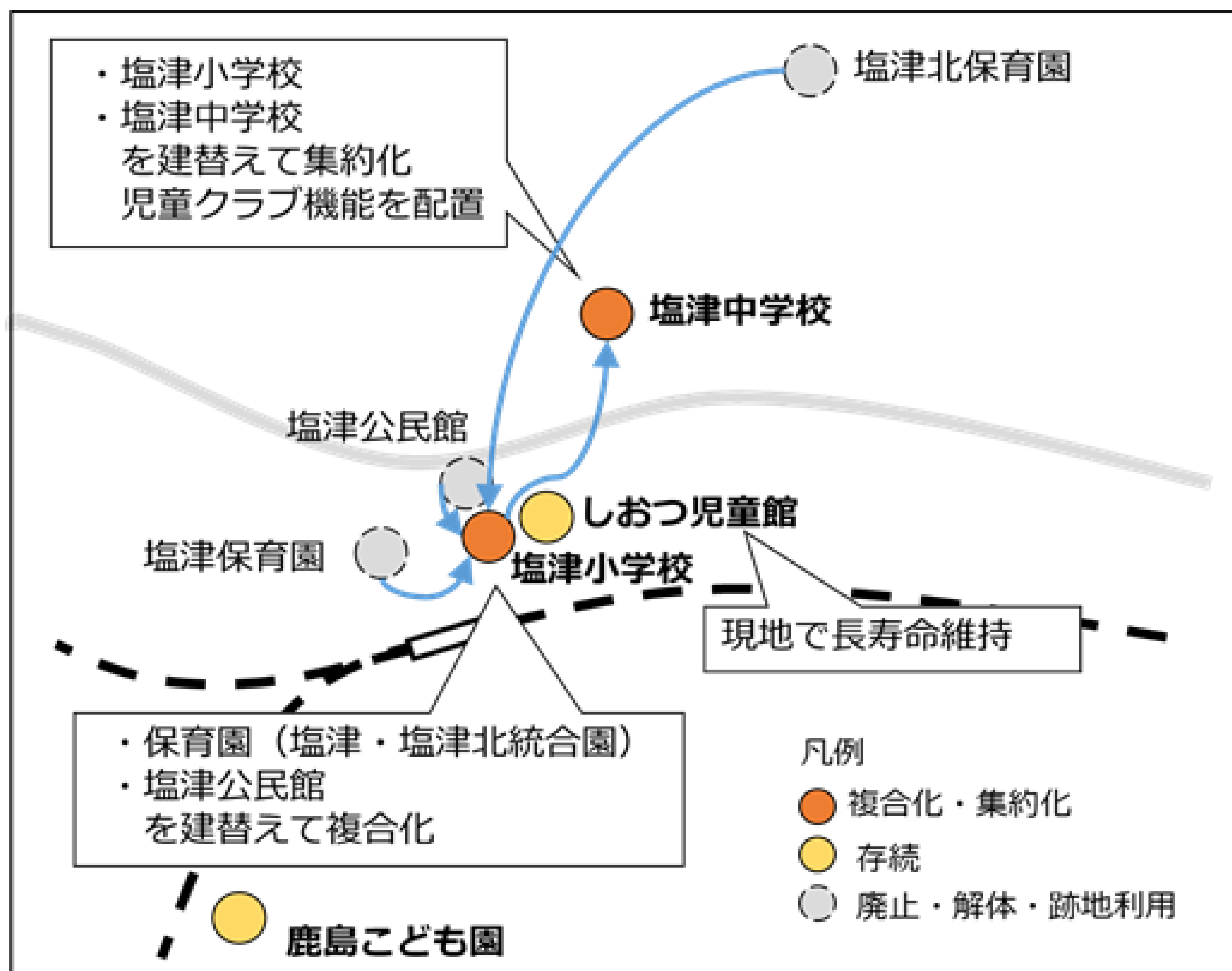
重点を置いた解決策

**2 11**

関連する解決策

**1 3 5 6 7**

**8 9 10 13**



## ワークショップでの意見

### 期待できること

- 小学校と中学校が一緒になれば、学習面や生活面での連携ができることによる様々な効果が期待できると思う。親にとっても部活帰りの下校と一緒にできるので安全性が高まるなどのメリットがある。
- 中学校敷地に多くのものを入れ込みすぎているので各施設のスペースに余裕があり、地区に2つの拠点ができる点が良い。
- 保育園と公民館が複合することで現状の高齢者と園児との交流が更に促進され、双方にとって良い効果が生まれると思う。
- 高台にある中学校とは異なり、歩きやすくアクセスが良い小学校の立地に保育園を複合するのは良い。
- 日常的に利用する公民館が現在の場所に残るのは、アクセスの点から考えて良い。
- 児童館から小学生の利用が減ることで未就学児が安全に遊べるようになるのは良い。

### 懸念されること

- 小学校と中学校が集約されると、体育館やグラウンドの広さが十分に確保できるのか心配だ。
- 中学校に小学校が集約されると、小学生は自転車通学ができないので鹿島地区の子ども達の通学が大変になる。
- 現在の小学校の敷地に保育園と公民館だけを建てるのでは土地が余るのではないかと。部活や住民のイベント用のグラウンドを作るなど、空いた土地の利用方法について検討が必要だ。
- 小学校跡地での保育園の集約は場所的に問題が少なく、小、中学校でクラスメイトになる子ども達が小さい頃から交流できる点は良いが、車を利用していない保護者の送迎の問題が出てくる。
- 公民館の近くに学校の体育館がなくなってしまうと、実施できるイベントが限られてしまう。小、中いずれかの体育館が公民館から近距離にあるのが望ましい。





保育園と小学校のつながりがある  
子育ての環境をつくりたい！！

D

## 子育てしやすい環境と地域活動の拠点をつくるプラン

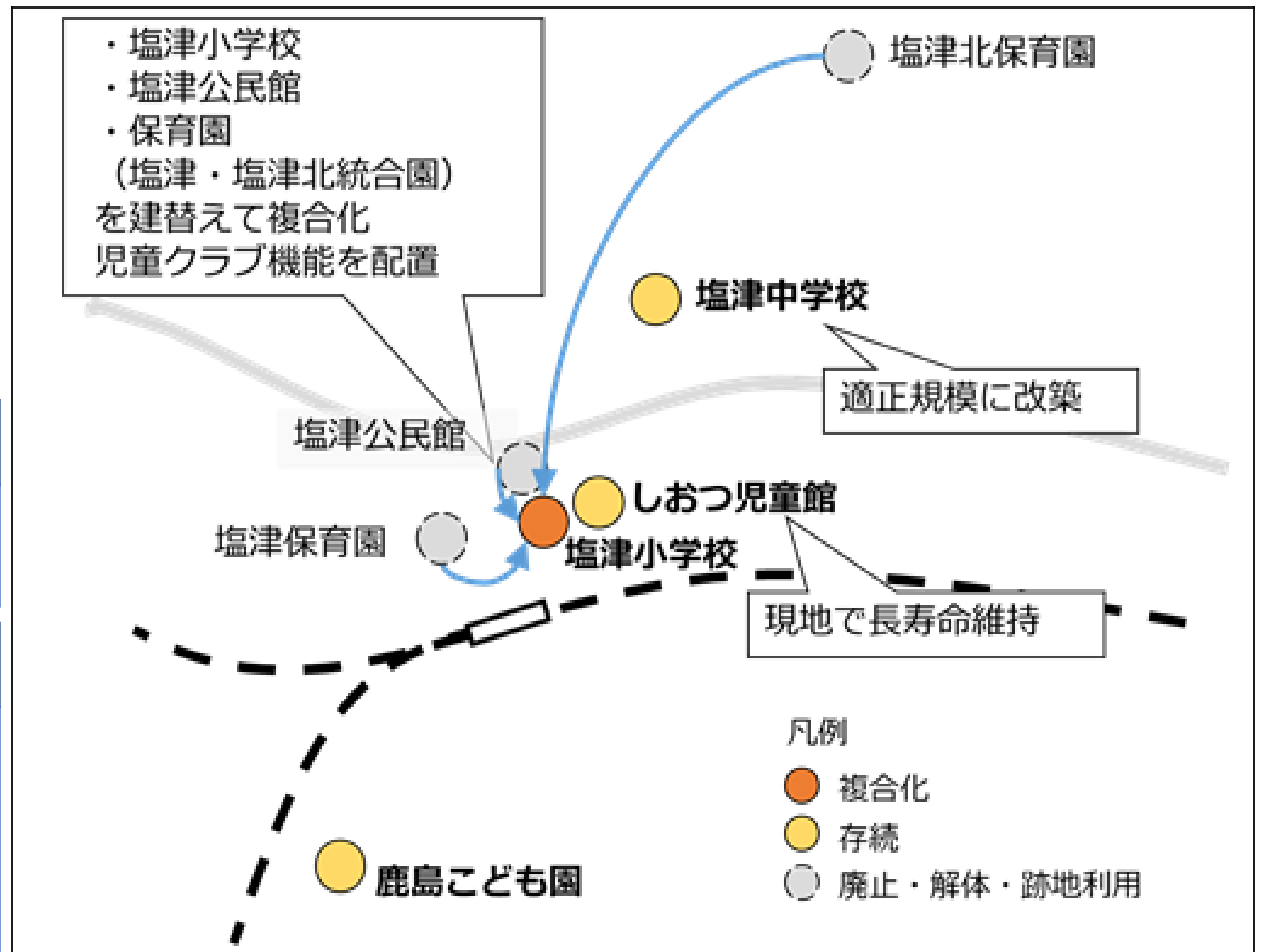
○塩津小学校に  
塩津・塩津北保育園の  
統合園、塩津公民館を  
複合化

重点を置いた解決策

4 5 9

関連する解決策

1 2 3 6  
7 8 10 13



## ワークショップでの意見

### 期待できること

- これまで利用してきた拠点施設が現状の場所に残っており、昔からの生活圏があまり変わらないのが良い。小、中学校も分かれたまま今の場所に残るので、通学や避難所の問題が発生しない。
- 保育園を小学校に複合すれば、行事を一緒にできるので盛り上がるし、世代間交流もできる。両方に子どもを通わせている親にとっては送迎の利便性が上がり、保育園の送迎時に小学生の子どもの様子を見ることが出来る。保育園を中学校に集約するよりもメリットがあるのではないか。
- 公民館と幼児の施設が一緒にあると、高齢者と幼児の交流が生まれて双方にメリットがあると思う。
- アクセスが良い小学校の敷地に保育園を複合するのは良い。
- 日常的に利用する公民館が現在の場所に残るのは、アクセスの点から考えて良い。

### 懸念されること

- 現状でも駐車スペースが足りないのに、小学校、保育園、公民館を複合した場合に十分な広さの駐車場が確保できるのか心配だ。
- 中学校を改築して規模が縮小されても、市街化調整区域なので余剰の土地の売却や土地の活用が難しく、有効に活用できないのはもったいない。



塩津地区内の各所から  
通しやすい位置に公共施設を  
配置していきたい！！

## E 同一用途の施設を集約するプラン

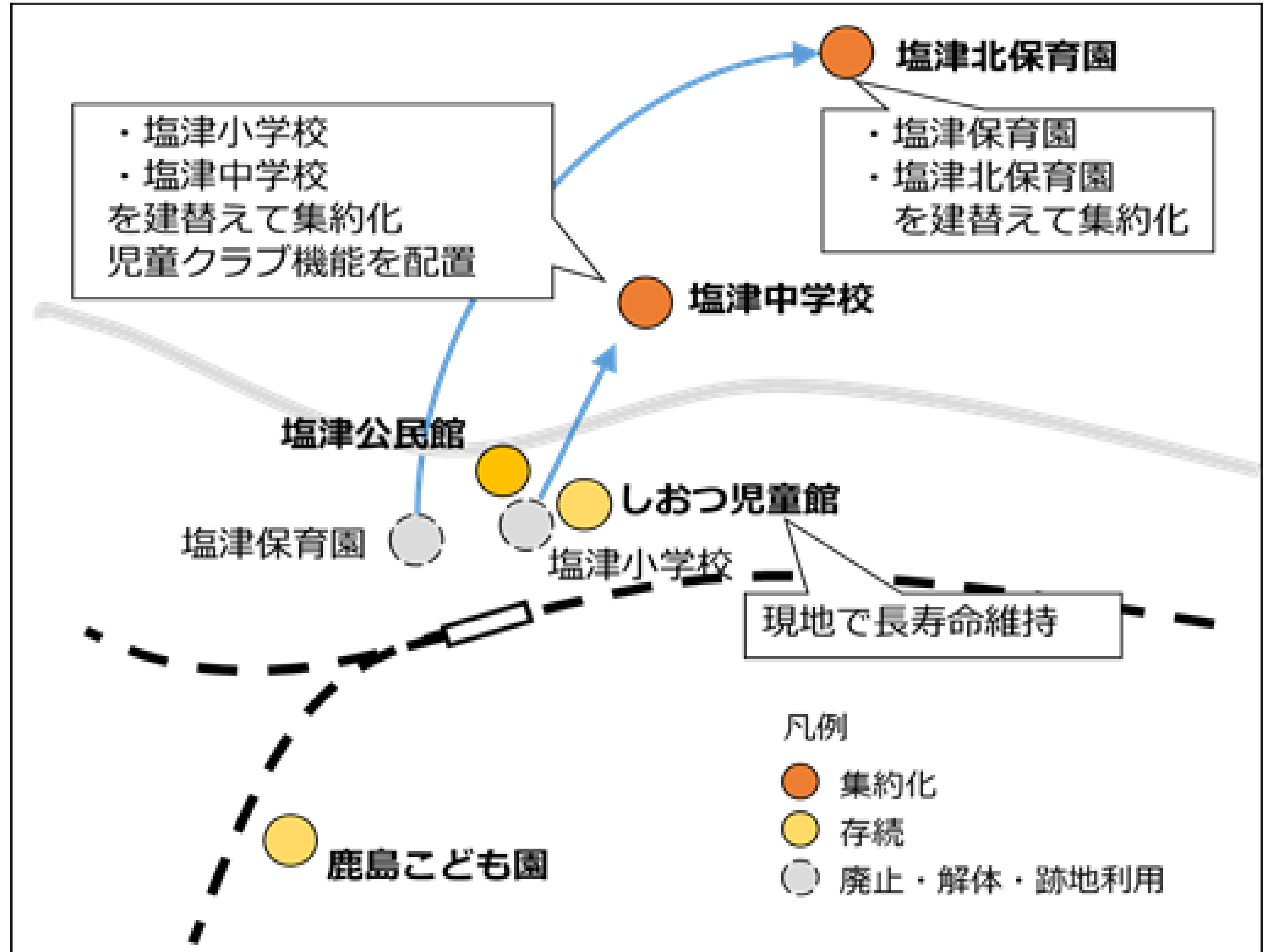
- 塩津中学校敷地に小中学校の機能を集約
- 塩津・塩津北保育園の機能を塩津北保育園に集約

重点を置いた解決策

**2 10**

関連する解決策

**3 6 7 8 13**



## ワークショップでの意見

### 期待できること

- 小学校と中学校が集約されると、進学時の環境の変化がなくなるので不登校の防止になる。部活後に小学生と中学生と一緒に下校できれば親も安心だ。
- 災害時の避難拠点を分散させるという点で、塩津北保育園を残すのは良い。
- 児童館から小学生の利用が減ることで未就学児が安全に遊べるようになるのは良い。
- 塩津小学校は地区の中心にあり利便性が高い土地なので、高く売却できる可能性がある。売却できれば市の財政にとっても良いのではないか。

### 懸念されること

- 小学校も保育園も移転し、施設が地区の北部に偏りすぎているので、南部の住民が利用しにくい。
- 塩津北保育園は山の上にあるのでアクセスが悪く、園児が増えてより多くの駐車場が必要になるのにスペースの確保が難しそうだ。近くに崖があるので事故の危険性もあり、塩津保育園の方が便利で安全に思える。
- 現状では小学校の体育館で公民館の行事を行っていることもあり、公民館の近くに学校の体育館がなくなると実施できるイベントが限られてしまう。公民館の周辺に他の施設がないと、ますます利用率が下がるのではないか。
- 小学校が中学校敷地に移転して児童館が遠くなると、小学生の児童館利用率が下がるのではないか。児童館のあり方や利用の仕方が変わり、小学校との連携がしづらくなるがそれでよいのか。